



整形外科のおはなし

整形外科

渡邊 正智



整形外科は、運動器の問題を解決するのに力添えをする診療科です。

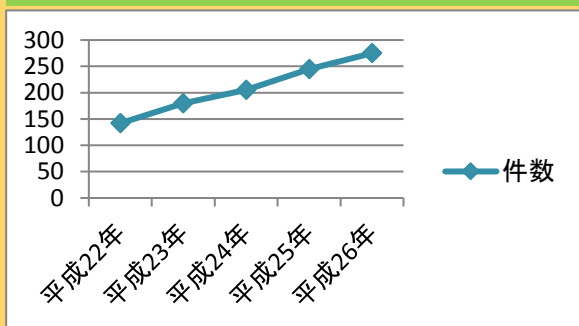
運動器というと聞きなれないかもしれませんが、体を動かすために必要な組織をさします。文字通り骨格を形作る骨、骨同士のつながりである関節や靭帯、それを動かす筋肉、筋肉に命令を伝える神経が運動器に含まれます。骨が折れた、関節が痛い、背中が痛い、手足がしびれる、など、首から下で内臓以外が整形外科の守備範囲になります。とはいえ、例えば背中中の痛みがすべて背中にあるとは限りません。稀ではありますが、例えば肺の病気のために「背中が痛い」こともあれば、腎臓の結石のために「背中が痛い」こともあるでしょう。整形外科は運動器の外科ですが、そこに隠れた別の原因の見当をつけるのも私たちの仕事です。なお、テレビや雑誌で「整形」といえば美容のために見た目を作る手術として使われがちですが、整形外科では美容目的の処置は行っていません。

折れ線グラフで示しているのは、年度ごとの整形外科が受け入れた救急患者の件数で(下図ひだり)、年々増加しています。今年度分は1月下旬までの集計ですが、すでに前年度を超えています。全ての方を受け入れることができているわけではありませんが、対応可能な方は極力診察するよう心がけています。整形外科を受診された方の中で手術が必要な方には、受診の当日あるいは翌日に緊急手術をすることもあります。

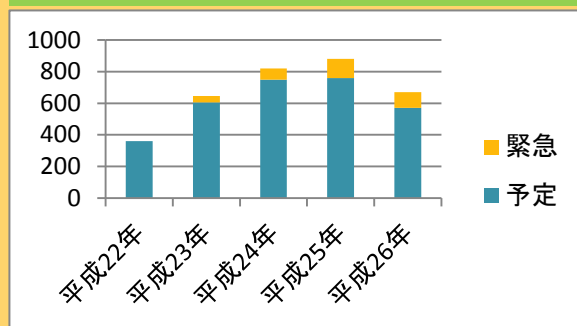
手術件数の年度ごとの推移を棒グラフで示しました(下図みぎ)。平成26年度は12月までの集計になります。当院では、年間800件程度の整形外科手術をしています。当院の整形外科で手術を行う原因として多いのは、ケガによる骨折です。実に多くの方が「ちょっと転んだだけなのに」、「一瞬の出来事なのに」と後悔されます。特に高齢の方の割合が多く、ケガをきっかけに今までできたことがやりにくくなってしまうことも有ります。ケガをするのは一瞬ですが、ケガの前にはできた事を、同じようにやれるようになるまでには時間がかかりますので、くれぐれもご注意ください。

何かございましたら、是非ご相談ください。

救急受入れ件数



手術件数



病院理念 基本方針

◇地域の中核病院として、安全で質の良い医療を提供します◇

1. 私たちは、患者様の人権を尊重し、理解と同意のもと満足いただける医療を提供します。
2. 私たちは、他の医療福祉施設と連携を図り、地域住民の健康を確保するための医療を提供します。
3. 私たちは、医療の質を向上するために自己研鑽します。



当院は、敷地内(駐車場含む)禁煙です。ご理解、ご協力の程お願い致します。

ワークアウト大会に参加して



昨年12月20日に行われたAMGワークアウト大会予選会へ、当院からは看護部と健康管理課の2チームが参加しました。ワークアウトとは、生産性の向上や問題解決のためにチームで行う業務改善活動のことです。

今回、看護部として、“看護必要度が見える記録を目指して”というタイトルで、発表を行いました。

看護必要度とは、患者様に提供されるべき看護量を測る指標であり、施設基準として導入されています。当院では、平成20年度から看護必要度を導入し、記録委員会を中心に取り組んでいます。看護必要度の評価は、看護師が実施した看護援助の記録から行います。看護必要度は、処置等の医療行為や患者様の状態を評価するものであるため、看護必要度が見える記録＝患者様の状態がわかる記録となります。今回の取り組みにより、“患者様の状態が見える記録”は少しずつですが、着実に増えています。

ワークアウト予選会は、残念ながら敗退してしまいましたが、取り組みの成果を看護に活かしていけるよう、これからも継続していきたいと思っております。

看護部 阿部 美穂



変形性膝関節症教室

リハビリテーション科では、地域貢献活動の一環として、去る平成26年12月9日に「第1回変形性膝関節症教室」を当院会議室において開催致しました。

今回対象とさせて頂いた変形性膝関節症の多くは、膝関節の痛みの原因となる疾患であり、予備群も含めると、その総数は日本全国で約3000万人以上にもなると言われています。当院でも、整形外科外来に膝の痛みで受診される患者様の多くがこの変形性膝関節症と診断されています。変形性膝関節症の予備群や初期段階においては、柔軟性の改善・筋力増強を目的とした運動や体重減量が、症状の緩和や疾患の進行予防に有効だとされています。

しかし、運動が効果的だといっても、どのような運動をどのくらい行えば効果的か？という情報は、一般の皆様まで行き渡っているとは言えないのが現状です。当科ではこの様な現状から、変形性膝関節症に対する効果的な運動の方法を含めた情報を、地域の皆様に提供できる場を設けたいと考え、今回の変形性膝関節症教室を企画しました。

当科として初の試みではありましたが、地域から11名の方々に御参加を頂き、無事に運動教室を開催することが出来ました。十分な情報が皆様に伝わったかどうか不安な点ではありますが、今回頂いたご意見を参考に、より良い運動教室になる様、当科一同鋭意努力していく所存です。

引き続き当科では、定期的に運動教室を開催し、地域の皆様の健康に貢献させて頂きたいと考えています。次回開催は、平成27年3月を予定しており、詳細は決まり次第、皆様にご案内させて頂きます。是非皆様お誘い合わせの上ご参加ください。

これからも当院リハビリテーション科をよろしくお願い致します。



リハビリ科 藤野 詩野

感染症予防のため、ご面会時はマスクを着用ください。ご協力の程よろしくお願い致します。

診療統計 平成26年10月～12月（月平均）

■ 外来延べ患者数	18,056名(6,019名)	■ 救急搬入数	522名(174名)
■ 入院延べ患者数	16,108名(5,370名)	■ 紹介患者数	518名(174名)
■ 一日平均外来患者数	241名	■ 手術件数	386件(129件)
		■ 内視鏡件数	340件(114件)